

2027 年度（2026 年度募集）交換留学募集要項（共通）

1. 趣旨	1 年間もしくは半年間、異なった環境の中で生活しつつ、専門科目の単位取得を目指すとともに、豊かな国際感覚を身につけることを目的とします。
2. 応募要件	出発時に本学学部 2 年次以上または大学院 1 年次後期以上に在籍する学生で、交換留学先の大学で教育を受けるのに十分な能力と適性のある者、かつ、PE に合格している者。 ※それ以外の詳細については、各留学先の応募要件を参照すること。 ※語学能力試験は有効期限が定められています。提出するスコアが留学先への出願時期（翌年の 7 月頃）まで有効であることを確認してください。 ※TOEFL, IELTS 等の語学スコアについて、今後留学先大学への出願時点で有効であるスコアが必要になります。また、本学への書類提出時点においてはオンラインでのスコア照会画面のスクリーンショットも可とします。ただし、留学先大学への出願までにはスコア原本を手元に用意する必要があります。 ※IELTS の One Skill Retake スコアについて、応募要件に指定がある場合はその内容に従うこと。指定がない場合は、IELTS 公式ウェブサイトにおいて One Skill Retake の利用が認められている機関として掲載されている協定校に限り、学内選考での提出を認めます。ただし、学内選考合格後に留学先大学から One Skill Retake を利用していない IELTS スコアの提出を求められた場合は、その指示に従うこと。なお、必要なスコアを提出できず受入れが認められなかった場合、他の留学先大学への変更は認められません。 ※TOEFL iBT の MyBest スコアまたは Home Edition 受験によるスコアについては、応募要件に指定がある場合はその内容に従うこと。指定がない協定校への応募に利用したい場合は、10 月 23 日（金）までにグローバル推進室へ相談すること。期限後の相談には対応できません。なお、学内選考合格後に留学先大学から別途指示があった場合はその指示に従うこと。必要な対応ができず、受入れが認められなかった場合、他の留学先大学への変更は認められません。 ※初習外国語の語学スコアについて、本学への書類提出時点においては学習計画書*の提出でも可とします。ただし、留学先大学への出願までにはスコア原本を手元に用意する必要があります。初習外国語の外部試験は英語の試験と比べ受験機会が限られているため、各自で日程を確認し予約をしてください。 *学習計画書: A4 用紙 2 枚程度で作成。様式は自由。留学前・留学中・留学後の語学学習について、具体的な取り組みと到達目標レベルを含め記載すること。
3. 応募に際しての注意事項	・留学の目的、留学先での学習計画を具体的に示し、応募書類を作成すること。 ・誓約書の内容を理解し、保証人の同意を得たうえで応募すること。 ・同時履修や留学中の研究活動について、指導教員に事前に十分相談のうえ、応募すること。 ・留学先で取得した単位は、認定されれば 30 単位を上限に本学の卒業に必要な単位に算入することは可能ですが、成績評価はつきません。研究室配属等で、総 GP を重視する場合は、本学の講義を履修して単位取得する必要がありますの

で、十分注意してください。

- ・ **理学部、データサイエンス学部、医学部および大学院で本プログラムへの応募を希望する場合は、必ず事前に「17.問い合わせ」記載のグローバル推進室メールアドレスまでご連絡ください。**
- ・ 本学の大学院では同時履修制度を設けていないため、大学院生が長期留学した場合、原則として卒業時期は1年延期となります。応募にあたっては、必ず指導教員と事前に相談し、研究活動への影響を十分に確認してください。
- ・ 交換留学生として留学先で履修できる科目には制限が設けられている場合があります。特定の科目については、前提科目の履修や、関連分野における所定の単位数の取得が条件となることがあります。履修可能な科目や条件は、各大学のホームページの情報を参照し、各応募者の責任において確認してください。
- ・ 申込 Forms の健康状態確認事項には既往症ほか、渡航先でも服用が必要となる薬や受診の可能性がある場合、必ず記載してください。既往歴に関する申告内容は、選考の可否には一切影響を与えません。ただし、選考後に申告漏れや虚偽の申告が判明した場合は、学内の判断により、皆さんの安全管理の観点などから留学の中止勧告または決定を行う場合があります。
- ・ 最終的な留学可否については、学内選考通過後に留学先大学への出願を経て、留学先大学の審査によって判断されます。また、留学先での科目履修の可否についても、留学先大学の判断に基づくため、希望する科目を必ず履修できるとは限りません。
- ・ 原則として、休学している学生は応募できません。また、合格後から渡航までの期間の休学はできません。
- ・ 本プログラムに参加する場合、確実な渡航準備、ビザ手配、受入大学との調整の観点から原則として第2クォーター渡航プログラム、夏季短期渡航プログラム、海外フィールドワーク支援プログラムの参加等、直前の夏季休暇の海外渡航は認められません。
- ・ 奨学金を受給している学生で、本プログラムへの参加により、卒業・修了時期が延長となる場合、各奨学金制度の規定によっては、奨学金の継続受給が認められなくなる可能性があります。応募前に、受給している奨学金の規定を確認し、必要に応じて各自で奨学金の担当窓口へ相談してください。
- ・ 昨今の円安基調や物価高により、航空券や宿舍費用が高騰しています。一方で、大学として学生の皆さんの安全性を確保するため、LCC（ローコストキャリア）の航空券や安全ではない地域の宿舍を利用することは禁止しています。学内選考通過後は、渡航までの間に航空券や宿舍を探していただきますが、安全面をはじめ、本学が求める各種要件を満たす航空券や宿舍を手配するために、ご自身の予算を大幅に上回る支出が発生する場合や、予算と折り合いがつかず航空券や宿舍の手配ができない結果、プログラムに参加できなくなる可能性もありますので、その旨ご了承の上、お申込みください。
申込みの前には、航空券や宿舍費についておおよその程度かかるのかご自身

	で調べるとともに保証人の方にも確認いただくようお願いします。 ・志望理由書・論述課題等の応募書類は、応募者本人が作成してください。生成 AI（ChatGPT 等）を利用して本文を生成、加筆、書き換えし、それを自己の作成物として提出することは認めません。
4. 併願について	交換留学先については、第 3 志望まで応募ができます。併願を希望する学生は、下記注意事項を確認してください。 【併願に関する注意事項】 ・交換留学としていくつかの大学を併願する場合は、第 1 志望の「志望理由」、及び第 1 志望含めた全ての「有効な語学能力試験のスコア」を提出すること。 ・第 1 志望から第 3 志望まで選択できますが、必ずしも第 3 志望まで選択しなければいけないわけではありません。
5. 留学期間	2027 年 7 月～11 月の留学開始から 1 年間、または半期（該当大学のみ） ※留学先大学での授業等終了日から 1 か月以内に帰国する必要があります。 ※本学の学籍は「留学」となり、修業年数に算入されます。
6. 学費について	本学の学費を支払うことにより、留学先での学費は免除となります。ただし、留学先大学にて手数料や施設使用料等が別途徴収される場合、本プログラム参加者の自己負担となります。 ※「11.ブリッジ枠」での応募の場合は、本学の学費に加えて、英語学習コースにかかる学費・諸経費を留学先に支払う必要があります。
7. 海外旅行保険等について	危機管理上、海外旅行保険等は以下のとおり指定のものに加入します。以下のものの以外は認められません。（※下記の記載金額は 2026 年度派遣のものです。2027 年度派遣では変更になる可能性があります。） ①学生教育研究災害傷害保険 （略称「学研災」、保険金額は最大 3,300 円（4 年間分）） ②大学の指定する海外旅行保険：159,230 円（10 ヶ月の場合） ③トータルアシスタンスサービス（24 時間 365 日体制の危機管理サービス）：22,265 円（10 ヶ月の場合） ※留学先によっては、上記指定の保険に加え、現地の保険の加入が義務付けられている場合もあります。
8. 補助金等	（調整中）確定後、交換留学 HP 等でお知らせします。
9. 単位認定	留学先で修得した単位について、審査のうえで教育上有益と認められた場合、本学学則 48 条により、30 単位まで本学で修得した単位として以下の方法で認定される場合があります。 ・教育的に有益かつ本学開講科目と内容が一致する場合は、本学の開講科目に読み替え、卒業要件を満たす単位として認定される場合があります。 ・教育的に有益にもかかわらず本学に内容が一致する開講科目がない場合は、海外留学科目群として、卒業要件を満たす単位として認定される場合があります。 ・本学の開講科目及び海外留学科目群に読み替えられない場合は、卒業要件に含まれない自由科目扱いとなります。

	【注意事項】 認定可否は審査を経て決定されるため、申請内容によっては単位が認定されない場合があります。在学中の履修計画をしっかりと立てた上で、渡航先での履修科目を決めてください。 審査前に直接教員へ連絡し、科目の認定可否を問うことはお控えください。 他大学単位認定についてのお問い合わせは、教務担当までお願いします。		
10. 留学期間中・帰国後の活動について	留学期間中に、留学先大学でイベント（国際交流イベント、留学生フェア等）が開催される場合は、現地学生等に本学を紹介する活動に協力してください。 帰国後は、報告書の提出や次期応募学生向けの説明会、オリエンテーション等へ参加するとともに大学プログラム経験者として広報活動に協力してください。		
11. ブリッジ枠	【概要】 英語圏の一部交換留学先大学を対象として、留学先の英語学習コース（有料）を受講することを条件に、通常の指定応募要件より低い語学スコアでの申込が可能なブリッジ枠を設定します。 ブリッジ枠で応募する場合、原則、前半（秋学期）に英語学習コースを受講し、後半（春学期）に学部授業に移行することを目標とします。 ※秋学期中に先方が指定する要件を満たせない場合、春学期からの学部授業を受講できない可能性があります。また、学修計画の変更に伴い追加費用が発生する場合は学生本人の負担となります。 【注意事項】 ・通常の交換留学費用（YCU への学費、渡航費、滞在費、保険料等）に加えて、英語学習コース分の追加費用（学費・教材費等）を支払う必要があります。 ・ブリッジ枠での応募を希望する場合、交換留学プログラム申込 Forms で必ず【ブリッジ枠】と記載された留学先を選択してください。 ・本学から派遣できる学生数は、各留学先の交換留学募集枠が上限であり、ブリッジ枠が別途確保されているわけではありません。同じ留学先への選考においては、通常の交換留学枠での応募者が原則として優先されます。 ・ブリッジ枠では、派遣先大学の語学学校等が英語学習コースを提供することを前提としています。派遣先大学の都合によりコースの提供が不可能となった場合は、学内選考通過後であっても留学中止となる可能性があります。 【対象大学】 ※追加費用は英語学習コースの学費・教材費等の金額です。 その他、1年間の交換留学に必要な諸経費が発生します。 <table border="1"> <tr> <td>セントクラウド 州立大学</td><td> <Intensive English Center> 英語要件：TOEFL-iBT 新スコア 3.5 以上（Reading、Listening および Writing3.0 以上）／旧スコア 61 以上（Reading、Listening および Writing15 以上）／IELTS 5.5 以上／Duolingo English Test 95 以上 </td></tr> </table>	セントクラウド 州立大学	<Intensive English Center> 英語要件：TOEFL-iBT 新スコア 3.5 以上（Reading、Listening および Writing3.0 以上）／旧スコア 61 以上（Reading、Listening および Writing15 以上）／IELTS 5.5 以上／Duolingo English Test 95 以上
セントクラウド 州立大学	<Intensive English Center> 英語要件：TOEFL-iBT 新スコア 3.5 以上（Reading、Listening および Writing3.0 以上）／旧スコア 61 以上（Reading、Listening および Writing15 以上）／IELTS 5.5 以上／Duolingo English Test 95 以上		

	追加費用（目安）：7,905 米ドル ※追加費用のうち、300 ドルはデポジット費用ですが、25 ドルは返金されません。 メモリアル大学 <Intensive English Bridge Program> 英語要件：TOEFL-iBT 新スコア 3.5 以上（Writing3.5 以上） ／旧スコア 58 以上（Writing16 以上）／IELTS 5.5 以上 （Writing5.5 以上かつ各バンド 5.0 以上）／Duolingo95 以上 追加費用（目安）：2,930 カナダドル（教材費等別途必要） ※英語学習コースは Grenfell キャンパスで受講しますが、学部授業は Grenfell と St. Johns の 2 つのキャンパスで開講しています。両キャンパスは車で 9 時間ほどの距離があるため、St. Johns キャンパスで開講する学部授業を履修する場合は、後半学期開始時に転居する必要があります。
12. 応募書類	【提出書類】 (1) 志望理由書【志望が複数ある場合は、第 1 志望についてのみ提出】 ・指定 word 様式に記入。1800 文字以上で、A 4 用紙 2 枚程度に横書き。日本語で記載すること。 ・第 1 志望大学への留学について、留学の目的、その国・大学を選んだ理由、選んだ大学で受講したい授業とその理由（本学で学習していることも踏まえて）、将来の展望（学習・研究・キャリア等）を含めて記載。 (2) 論述課題 ・指定 word 様式に記入。A 4 用紙 2 枚程度に横書き。日本語で記載すること。（文字数は課題参照） (3) パスポートの写し ・スキャンした pdf データ、またはスマートフォン等のカメラで撮影した画像データをアップロード。カラー、白黒どちらでも可。 ※パスポートがない場合、パスポート申請を行い、申請時に受け取った引換証のデータを提出してください。パスポート原本を受領されましたら、グローバル推進室宛に速やかにメールで提出してください。 (4) 応募要件を満たす有効な語学能力試験のスコアの写し ・第 1 志望から第 3 志望までの留学先大学で、求められる語学能力試験のスコアの種類が異なる場合は、それぞれの応募条件に合ったスコアのコピーを提出してください。 例：第 1 志望が英語圏、第 2 志望が中国語圏の場合 → TOEFL や IELTS 等のスコアに加え、HSK 等のスコアが必要 (5) 誓約書 ・HP に掲載しているフォーマットを印刷のうえ、参加者本人と保証人が署名すること。 ・スキャンした pdf データ、またはスマートフォン等のカメラで撮影した画像データをアップロード。カラー、白黒どちらでも可。 【その他】 ■ 指導教員への意見書の依頼 ・指導教員に『意見書依頼のお願い』を渡し、意見書作成を依頼するとともに、

	HP で公開している「意見書依頼 完了報告フォーム」からグローバル推進室に報告してください。 ・指導教員の意見書作成期間を考慮し、遅くとも 10 月中に依頼と報告を完了させてください。 ・意見書の詳細についてはグローバル推進室から指導教員に直接連絡します。 ※ 1 年生の場合、指導教員とは後期基礎ゼミのクラス担当教員です。
13. 応募締切	2026 年 11 月 12 日(木) 13:00 厳守 （郵送不可）
14. 書類提出先	交換留学プログラム申込 Forms にてアップロードし、ご提出ください。 アップロード時は、各書類指定様式を厳守してください。 ※申込 Forms の URL は、HP で公開します。
15. 選考	提出書類、成績、語学試験（対象の大学）、書類選考により総合的に判断します。 ※書類選考にて不明確な点や追加確認が必要な事項がある場合、面接を受けていただくことがあります。 【語学試験】下記初習外国語使用を対象とした留学を希望する場合、語学試験を受験いただきます。詳細は募集締め切り後、該当される方に通知します。 対象： <フランス語> リヨン第 3 大学 *フランス語希望の場合 ルーヴァン・カトリック大学サンレイ・ブリュッセル校 *フランス語希望の場合 ケッジビジネススクール *フランス語希望の場合 モントリオール大学 <ドイツ語> ゲーテ大学 *ドイツ語希望の場合 ウィーン大学 *ドイツ語希望の場合 ヴェルツブルク大学 *ドイツ語希望の場合 <スペイン語> ナバラ大学 *スペイン語希望の場合 サンティアゴ・デ・コンポステラ大学 マドリード・コンプルテンセ大学 バルセロナ自治大学 *スペイン語希望の場合 <中国語> 上海師範大学 北京師範大学 東海大学 *中国語希望の場合 国立政治大学 *中国語希望の場合 国立台湾科技大学 *中国語希望の場合 長庚大学 *中国語希望の場合 <韓国語> 仁川大学校 *韓国語希望の場合 淑明女子大学校 *韓国語希望の場合 日時：2026 年 11 月 17 日(火) 12:10～12:40 場所：YCU スクエア 202 教室

16. 選考後の流れ	(1) 選考結果発表 日時：2026 年 12 月 10 日(木) (予定) YCU メールにて各応募者あてに通知します。 (2) 第 1 回オリエンテーション (参加必須) 日時：2027 年 2 月 2 日(火) 10:00～12:00 (予定) 場所：YCU スクエア 401 教室 ※第 2 回以降のオリエンテーションにつきましては順次ご案内します。 ※アルバイトやサークル等、自己都合による不参加は認められません。予め日程を調整し、必ず参加してください。
17. 問い合わせ	グローバル推進室 国際交流担当 電話：045－787－2027 メール：outbnd02★yokohama-cu.ac.jp (★をアットマークへ変更してください。)